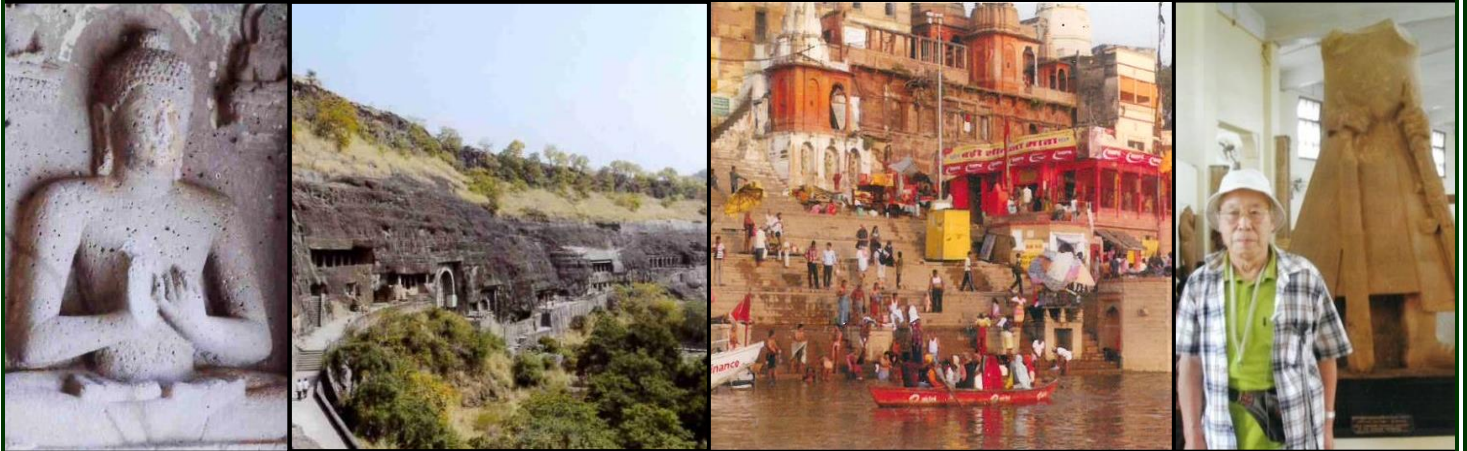


# ユーラシア文明・心の大地 インドの歴史と文化



写真左から「エローラ石窟の仏像」・「アジャンタ石窟全景」・「ヒन्दウー教の聖地バラナシ」・「仏像誕生にかかわったクシャーナ朝カニシカ王像と講師」 撮影：児島建次郎さん

ユーラシア大陸の諸国家・諸民族社会と日本とは、歴史上、密接な交流を行ってきました。個々の文明は「融合」と「交流」を繰り返しながら世界の歴史に大きな足跡を残します。紀元前2300年頃から紀元前1800年にかけて、世界四大文明の一つインダス文明が栄えますが、やがて滅亡します。原因は不明です。紀元前1500年頃、インド・ヨーロッパ語族のアーリア人が侵入し、ガンジス川まで進出し、バラモン教と四つの身分制度のヴァルナ制（カースト）が成立します。その後、紀元前6世紀頃、仏教の開祖ガウダマ・シッダールタ（釈尊）は人間の平等を説き、悟りをひらき仏陀になり、仏教はインドに着実に浸透します。インド最初の統一王朝マウリア朝（前317 - 前181）の3代目アショーカ王は、ダルマ（法）による統治を行います。やがて、イラン系のクシャーナ朝（1世紀から3世紀）がインド西北部を支配し、3代目のカニシカ王は仏教を保護しました。この王朝のもとで、ヘレニズム文化と仏教が結びつきガンダーラ美術が生まれました。仏像はギリシア人の顔をしており、アレクサンドロス大王の遠征により、ギリシア系住民が仏教徒になったことが影響を与えたと考えられます。ガンダーラ美術は、大乘仏教とともに中央アジア経由で、中国、朝鮮半島、日本へ伝えられます。

今回の講演会では、講師に、元NHKチーフアナウンサーで、なら・シルクロード博覧会の企画を担当した児島建次郎さん（白鳳短期大学名誉教授）をお迎えし、ユーラシア文明と古代インドに焦点をあてお話しして頂きます。

- 第1回 4月13日（土曜日）「四代文明・インダス文明の発展と衰退」
- 第2回 4月20日（土曜日）「アーリア人のインド侵入・ヴァルナ制とバラモン教の成立」
- 第3回 5月11日（土曜日）「釈尊の生涯① 若きガウタマ・シッダールタの悩みと四門出遊」
- 第4回 5月25日（土曜日）「釈尊の生涯② 苦行をへて瞑想に入りブッダガヤで成道する」
- 第5回 6月8日（土曜日）「釈尊の生涯③ 80歳で最後の旅に立ちクシナガラで入滅する」
- 第6回 7月20日（土曜日）「マウリア朝3代目アショーカ王によるダルマの政治」
- 第7回 8月24日（土曜日）「クシャーナ朝のカニシカ王の時代に、なぜ、仏像が誕生したか」
- 第8回 9月21日（土曜日）「インドの仏教遺跡・アジャンタ石窟とエローラ石窟」



講師 児島 建次郎さん（元NHKチーフアナウンサー・白鳳短期大学名誉教授）

会場 大阪府立中央図書館2階多目的室（東大阪市荒本北1-2-1）

定員 各回80名（先着順、申込不要、受講無料）

時間 各回14時から15時30分（開場13時30分）

## 講演概要

### 第1回 4月13日(土曜日) 「四大文明・インダス文明の発展と衰退」

インドでは、紀元前 2300 年頃から紀元前 1800 年頃まで、インダス川を中心に都市文明が栄えました。モヘンジョダロやハラッパに代表される遺跡は、街区が整備され沐浴場がありました。ドラヴィダ人が担ったといわれるこの文明は、紀元前 1800 年ごろから衰退します。滅亡の原因は为什么呢。検証したいと思います。

### 第2回 4月20日(土曜日) 「アーリア人のインド侵入・ヴァルナ制とバラモン教の成立」

中央アジアに住んでいたインド・ヨーロッパ語族のアーリア人は、紀元前 1500 年ごろまでにパンジャブ地方に住みつき、ガンジス川まで進出します。彼らは牛を神聖し、その風習は現在まで続いています。やがて階級が生じ、4つの身分区分ができ、ヴァルナ制(カースト)が成立し、ヴェーダの宗教、バラモン教が生まれます。カースト制度は現在のインド社会にも多大な影響を及ぼしています。

### 第3回 5月11日(土曜日) 「釈尊の生涯① 若きガウタマ・シッダールタの悩みと四門出遊」

紀元前 500 年前後に、新しい自由な思想として仏教とジャイナ教が成立します。釈尊の生母マヤー夫人は、ルンビニーの花園で釈尊を生みます。釈尊は、青年時代になると人生に思い悩むようになります。城の郊外を散策している時、「四門出遊」を体験し出家します。

### 第4回 5月25日(土曜日) 「釈尊の生涯② 苦行をへて瞑想に入りブッダガヤで成道する」

釈尊は6年の苦行を続け、やがて瞑想に入り煩惱に打ち克ち悟りをひらき仏陀になります。徹底した無常観に立ちすべての人間は平等であるとして「四諦八正道」を説き、ガンジス川中流域で布教に務めます。

### 第5回 6月8日(土曜日) 「釈尊の生涯③ 80歳で最後の旅に立ちクシナガラで入滅する」

釈尊の教えは、王族や商人の間にひろがります。マガタ国のビンビサーラ王は、竹林精舎を寄進します。仏教教団が拡大する中で、80歳の時に最後の旅に出ます・クシナガラに着いた釈尊は、2本の沙羅双樹の下で弟子たちに「修行にはげみなさい」と言い残して入滅します。

### 第6回 7月20日(土曜日) 「マウリア朝3代目アショーカ王によるダルマの政治」

紀元前 317 年にインド最初の統一王朝マウリア朝が生まれ、3代目のアショーカ王は、カリంగాを征服しました。その後、戦争の悲惨さを痛感し仏教に帰依しました。アショーカ王は、ダルマ(法)とよばれる政治の理念をかかげ、仏教の擁護に務め、仏教徒から名君と仰がれました。

### 第7回 8月24日(土曜日) 「クシャーナ朝のカニシカ王の時代に、なぜ、仏像が誕生したか」

クシャーナ朝(紀元1~3世紀)は、ゾロアスター教を信仰していましたが、3代目カニシカ王の時代に、ガンダーラとマトゥラーで仏像が誕生しました。釈尊の入滅から500年後に、なぜ仏像が誕生したのでしょうか。ガンダーラはヘレニズム文化が栄えていたところで仏像はギリシア人の顔をしていたといわれています。

### 第8回 9月21日(土曜日) 「インドの仏教遺跡・アジャンタ石窟とエローラ石窟」

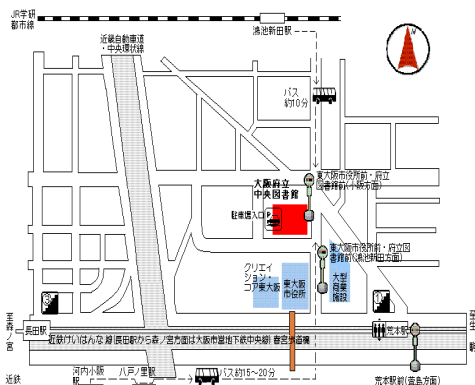
インドには数多くの石窟寺院があります。岩盤をくりぬいたものです。アジャンタ石窟は、仏教の初めの頃の壁画があり、仏像誕生の様子などを知ることができます。エローラ石窟は、ヒンドゥー教・仏教・ジャイナ教の三つの宗教の石窟です。これらの石窟の特徴を紹介します。

#### 【講師紹介】

児島 建次郎(こじま けんじろう): 1941年生まれ、NHKチーフアナウンサー 白鳳短期大学名誉教授

NHKにアナウンサーとして入局し、スペシャル番組や衛星放送を通じて全国の歴史文化を紹介する番組作成にたずさわる。1988年、NHKと奈良県が主催した「なら・シルクロード博覧会」にNHK代表として係り、シルクロード研究をはじめめる。専門は「シルクロード文化論」「コミュニケーション論」。著書に『正倉院への道』『敦煌の美と心』『ユーラシア文明とシルクロード』など多数。

※講演会の参加に際して、障がい等の状況により配慮が必要な方は事前にお知らせください。



#### 【アクセス】

- 近鉄けいはんな線(地下鉄中央線乗り入れ)  
荒本駅下車(1番出口)北西へ約400M  
長田駅下車(3番出口)北東へ約1000M  
東大阪市役所北側

問い合わせ先

大阪府立中央図書館

生涯学習事業担当

〒577-0011

東大阪市荒本北1-2-1

TEL 06(6745)0170 FAX 06(6745)0262

#### 【駐車場】

○有料地下駐車場: 120台/入庫後15分間は無料(平日は100円/60分、最大料金500円、土日祝祭日は150円/60分、最大料金600円)

○詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<https://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>